

寝屋川原水協 30周年記念行事 (参加費は無料です)

- ◎映画：「荒野に希望の灯をともし」
- ◎講演：西谷 文和 (フリージャーナリスト)
- ◎「原爆と人間展」パネル、「ビキニ被災」パネル展

日時：2024年8月10日(土)

映画上映(1回目)10時30分～(2回目)14時40分～

講演 13時～「紛争地から平和憲法 ガザ・ウクライナ・アフガンの今」

場所：寝屋川市立エスポアール(錦町21-3 072-828-4141)

(映画と講演は多目的ホール、パネル展は第2講義室)

寝屋川市原水爆禁止協議会が、1995年11月に再結成してから、今年で30周年を迎えます。30周年記念行事として、アフガニスタンでの医療活動に加えて、「暮らしの安定がなければ生きることを保障できない」と、農業用水路を建設して、荒野を農地に変える大事業を成し遂げた 中村哲医師のドキュメンタリー映画を上映します。不幸にも強盗集団によって命を奪われましたが、「中村医師にノーベル平和賞を」の運動が広がっています。

併せて、紛争の現地に行き、中村哲さんのような活動こそ、日本国憲法の平和主義の体現だと、政府に平和外交の展開を求めてきた、フリージャーナリストの西谷文和さんの記念講演も企画しました。

お誘い合わせて多数の皆さまがご来場くださるよう、心より願っています。

※駐車場はありますが、お近くの方は徒歩・自転車でのご参加と、念のためにマスクの着用にもご協力をお願いします。下靴は履き替えとなります。

主催：寝屋川市原水爆禁止協議会

(問い合わせ先 中谷 光夫 090-7367-4618)

後援：寝屋川市、寝屋川市教育委員会

